

2015年5月27日

<報道関係各位>

一般社団法人日本化学工業協会

第1回 日化協LR I賞： 化学物質が人の健康や環境に及ぼす影響に関する優れた研究受賞者決定

一般社団法人日本化学工業協会（住所：東京都中央区、会長：小林 喜光（株）三菱ケミカルホールディングス 会長）、以下「日化協」は、日化協LR Iでの研究者奨励（育成）の一環として、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する優れた研究業績をあげた研究者を表彰する「日化協 LR I※賞」を、本年度より日本毒性学会（理事長：眞鍋淳）内に設け、このたび初の受賞者を次のとおり決定いたしました。

※LR I：Long-range Research Initiative = 長期自主研究活動

審査については、本年3月下旬から4月上旬にかけて、日本毒性学会ホームページ上で募集を行い、応募がありました研究4件について日本毒性学会内の日化協LR I賞選考小委員会において厳正なる選考を行っていただきました。この結果、推薦をいただいた受賞者1件について、日化協として正式に承認いたしました。



[受賞者] 北嶋 聡

国立医薬品食品衛生研究所 安全性生物試験研究センター毒性部 室長

[テーマ] 化学物質の有害性評価の迅速化、定量化、高精度化に関する研究

[受賞理由]

受賞者は、「ナノ材料のヒト健康に対する評価系開発」、「ヒト型モデル実験動物を用いる評価系開発」および「トキシコゲノミクス研究（毒性反応を単に現象としてではなく、遺伝子情報として分析することにより、動物種による反応性の違いなどを克服しようとする試み）」等で優れた業績を残されており、研究成果は、分子メカニズムに基づく化学物質の影響評価手法の開発に大きく貢献してきました。加えて、政府の審議会委員や教育者として化学物質安全に関して社会的にも貢献されています。

なお、授賞式は6月下旬に行われる日本毒性学会学術年会において執り行われます。また、8月28日に開催する日化協の「LR I第3期研究報告会」で受賞者による記念講演を予定しております。

LR Iは、国際化学工業協会協議会（ICCA）に加盟している欧州化学工業連盟、米国化学工業協会および日化協の3つの団体によって1999年より運営されているグローバルプログラムであり、化学物質の安全性を向上させ、不確実性を低減させることを目的に、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する研究を長期的に支援している自主活動です。日化協では2000年よりLR Iを通じた研究支援を行っています。「日化協 LR I賞」は、LR Iの認知拡大および理解促進を図るとともに、同分野の優れた若手の研究者および世界をリードするような新しい研究分野を発掘することを目指して設置いたしました。

以上